

2015年3月26日
廃炉・汚染水対策チーム会合
事務局会議（第16回）資料
抜粋および一部更新

滞留水移送装置 仮設ポンプの設置が必要な箇所の調査について

2015年4月6日
東京電力株式会社










建屋滞留水水位制御のための建屋内調査について

- 地下水流入抑制対策による地下水位低下に伴い、建屋滞留水水位を低下させる必要があり、原子炉建屋等に滞留水移送ポンプを新規設置中である。
- この滞留水移送ポンプの設置にあわせ、建屋滞留水水位管理の信頼性向上の観点から、これまで水位計が設置されていないエリアにも水位計を設置している。
- この際、1～4号機の原子炉建屋側で7エリア、タービン建屋側で7エリアの計14箇所について、水位計の設置工事にあわせて水位の状況を確認した。
- 14箇所全数の調査が完了し、そのうち10箇所について水位があることを新たに確認した。（他4箇所は水位があることを確認、公表済み（H24.5～7）であるが、新規設備の設置に合わせて改めて調査を実施した）
- また、調査結果を踏まえた連通性の評価を実施した。評価結果は、連通性を確認したエリアが6箇所、連通性が無いと評価したエリアが8箇所であった。
- 連通性が無いと評価したエリアは、今後設置する滞留水移送ポンプでの移送が困難であることから、仮設ポンプによる排水を計画する（3月中の移送開始を目標に準備中。ただし、実施計画変更の手続きが必要な場合は認可後となる）。

建屋の区画とポンプ・水位計設置箇所(1号機)

出典：第31回特定原子力施設監視・評価検討会資料に加筆

-  . . . 区画の境界線
-  . . . 建屋内排水系や貫通部等を介して連通しているエリアの境界線
-  . . . 土壌と面した外壁に存在する貫通部
-  . . . ポンプ設置箇所と区画され、連通性が不明な箇所であり、かつ土壌と面した外壁に貫通部がある箇所
-  . . . ポンプ設置箇所と建屋内排水系等を介して連通しており、かつ土壌と面した外壁に貫通部がある箇所
-  . . . ポンプ設置箇所
-  . . . 水位計設置箇所

水位計を設置し、局所的な水の滞留を監視する。
滞留が確認された場合は水中ポンプにより排水を行う。

土壌と面した外壁がないため水位計設置不要

土壌と面した外壁に貫通部が存在しないため、水位計設置不要

土壌と面した外壁に貫通部が存在しないため、水位計設置不要

土壌に面していないため水位計設置不要

扉開のため2号Rw/Bと区画無し

水位の確認状況

各エリアの水位の確認状況を以下の表に示す。確認した全てのエリアに水の存在が確認された。（表のNo. は前頁の図中の記載番号に対応）

NO	調査エリア	エリア水位 [OP]	隣接建屋内水位 [OP]	近傍サブドレン水位		備考
				[OP]	NO.	
1	1号H/B室	4900	2934	5386	N1	新規
2	1号D/G(B)室	4650	2559	4945	1	新規
3	3号D/G(B)室	2660	2670	5144	34	新規
4	3号D/G(A)室	2750	2750	5603	33	新規
5	3号ケーブル処理室	2770	2772	4644	31	新規
6	4号D/G(A)室(北側)	2850	2790	4393	59	新規
7	4号D/G(A)室	2540	2651	7686	58	新規
A1	2号機増設FSTR廃棄物貯蔵タンクエリア	5046	2569	6600	20	1
A2	2号機増設FSTR廃スラッジ貯蔵タンクエリア	5051	2569	6600	20	1
A3	2号機FSTR廃棄物貯蔵タンクエリア	2456	2265	7000	20	1
	2号機FSTR廃スラッジ貯蔵タンクエリア	2471	2265	7000	20	
A4	3号機FSTRCUW廃樹脂貯蔵タンクエリア	5561	2958	8745	45	新規
A5	3号機FSTR廃スラッジ貯蔵タンク(A)エリア	5601	2958	8745	45	1
	3号機FSTR廃スラッジ貯蔵タンク(B)エリア	5601	2958	8745	45	
A6	3号機FSTR床ドレンサンプエリア	5650	2958	8745	45	新規
A7	4号機FSTR廃スラッジ貯蔵タンクエリア	-340	2546	8430	45	新規

※1:平成24年5月26日～7月3日に公表

調査結果(1/2)

調査結果を以下の表に示す。

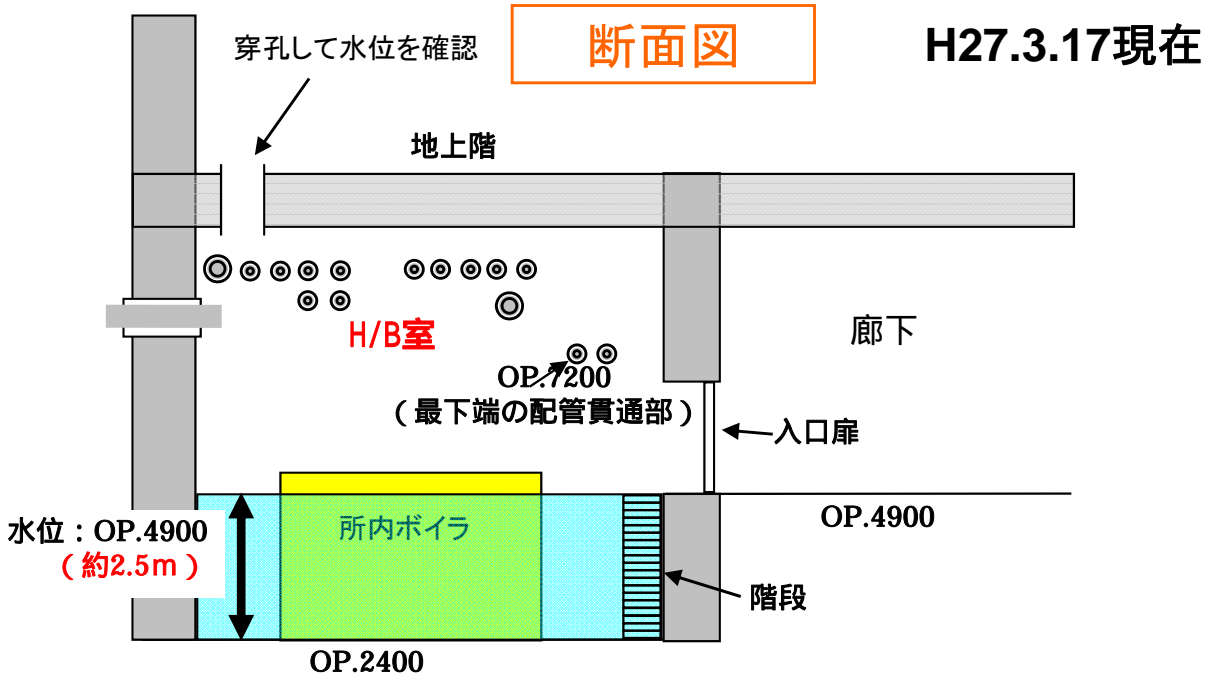
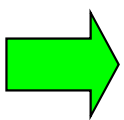
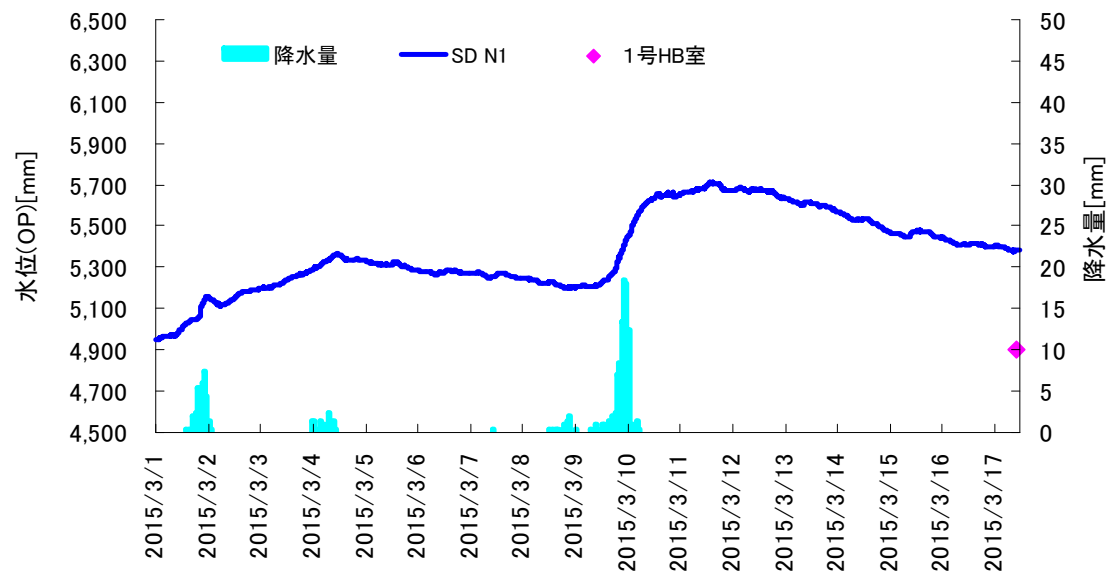
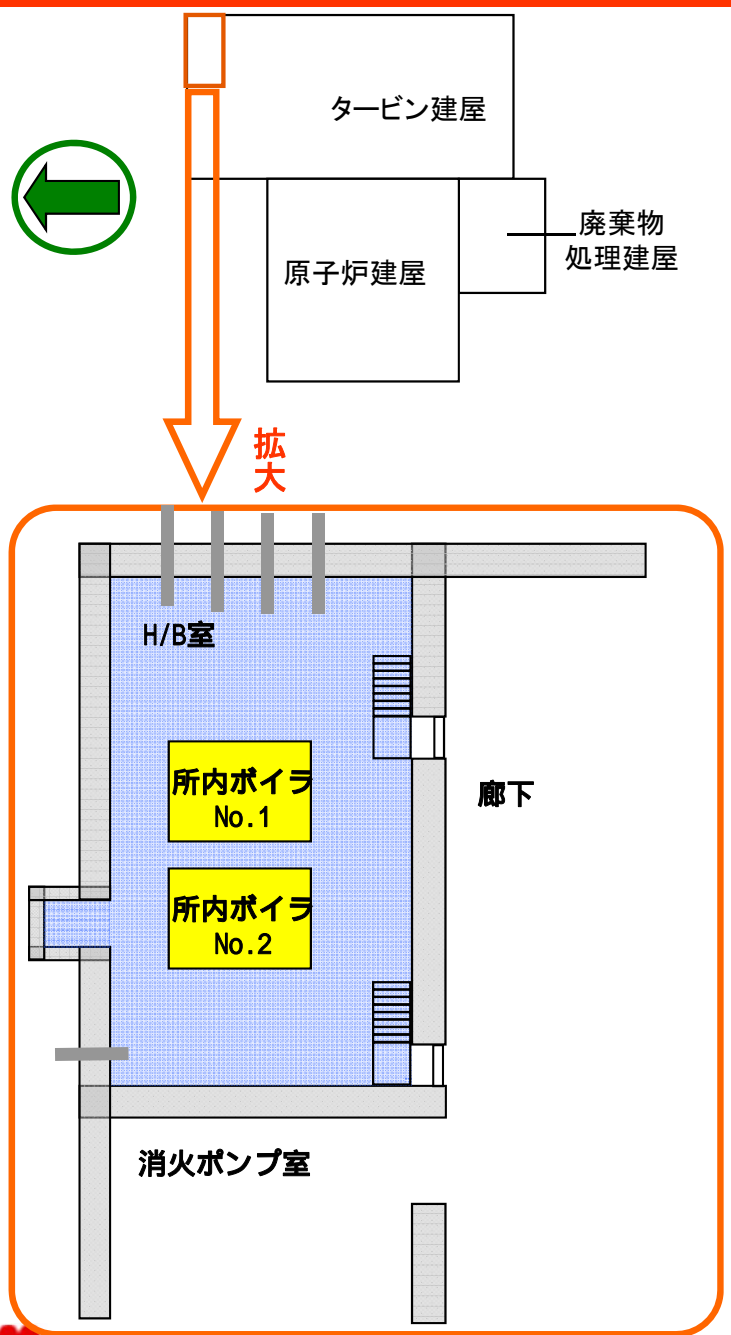
(表のNo. は前頁の図中の記載番号に対応)

連通性評価状況(1/2)

No.	調査箇所	水位 [OP]	T/ B水位 [OP]	近傍 サブ ドレン 水位 [OP]	近傍 サブ ドレン No.	Cs-134 [Bq/L]	Cs-137 [Bq/L]	全β [Bq/L]	トリチウム [Bq/L]	Cl- [ppm]	調査日	連通性 判断
1	1号H/B室	4900	2934	5386	N1	8.35E+06	3.28E+07	3.57E+07	1.62E+05	10000	2015/3/17	無
2	1号D/G(B)室	4650	2559	4945	1	9.68E+06	3.70E+07	6.90E+07	2.15E+05	18000	2015/3/2	無
3	3号D/G(B)室	2660	2670	5144	34	5.77E+06	2.02E+07	5.86E+07	2.92E+05	430	2015/3/2	有
4	3号D/G(A)室	2750	2750	5603	33	3.59E+06	1.30E+07	3.63E+07	2.95E+05	350	2015/3/10	有
5	3号ケーブル 処理室	2770	2772	4644	31	1.72E+06	6.38E+06	1.42E+07	1.22E+05	550	2015/3/11	有
6	4号D/G(A)室 (北側)	2850	2790	4393	59	※	※	※	※	※	2015/3/19	有
7	4号D/G(A)室	2540	2651	7686	58	7.62E+05	2.64E+06	5.49E+06	1.56E+04	640	2015/3/4	有

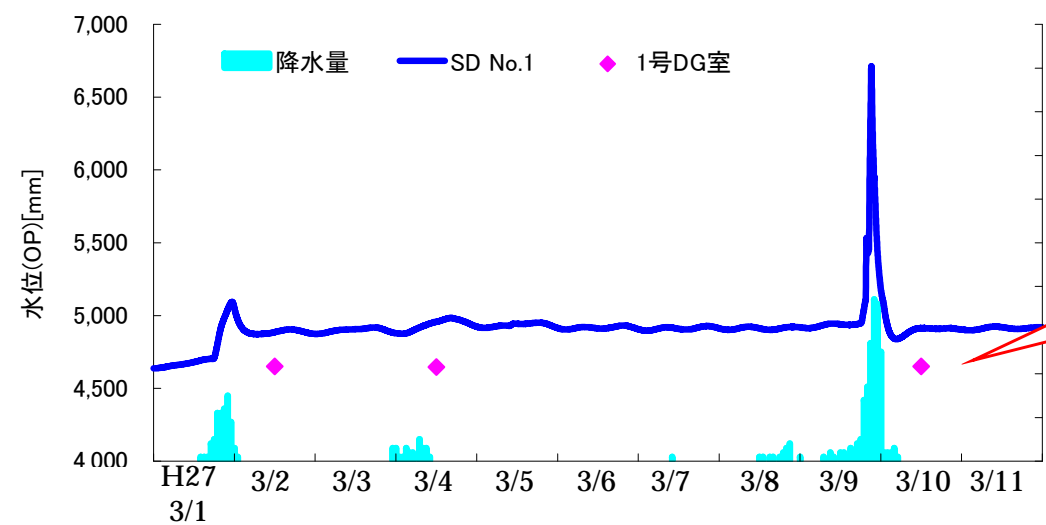
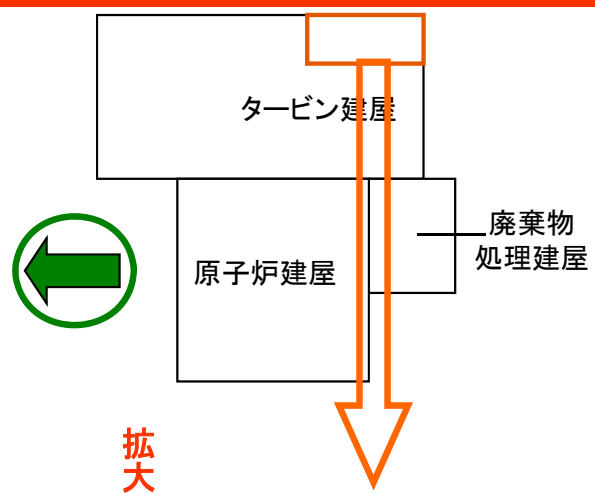
※床穴下の干渉物によりサンプリングは困難。水位データから連通性有りと判断し、水位計設置後の水位データを監視していくこととする。

滞留水: 約416m³

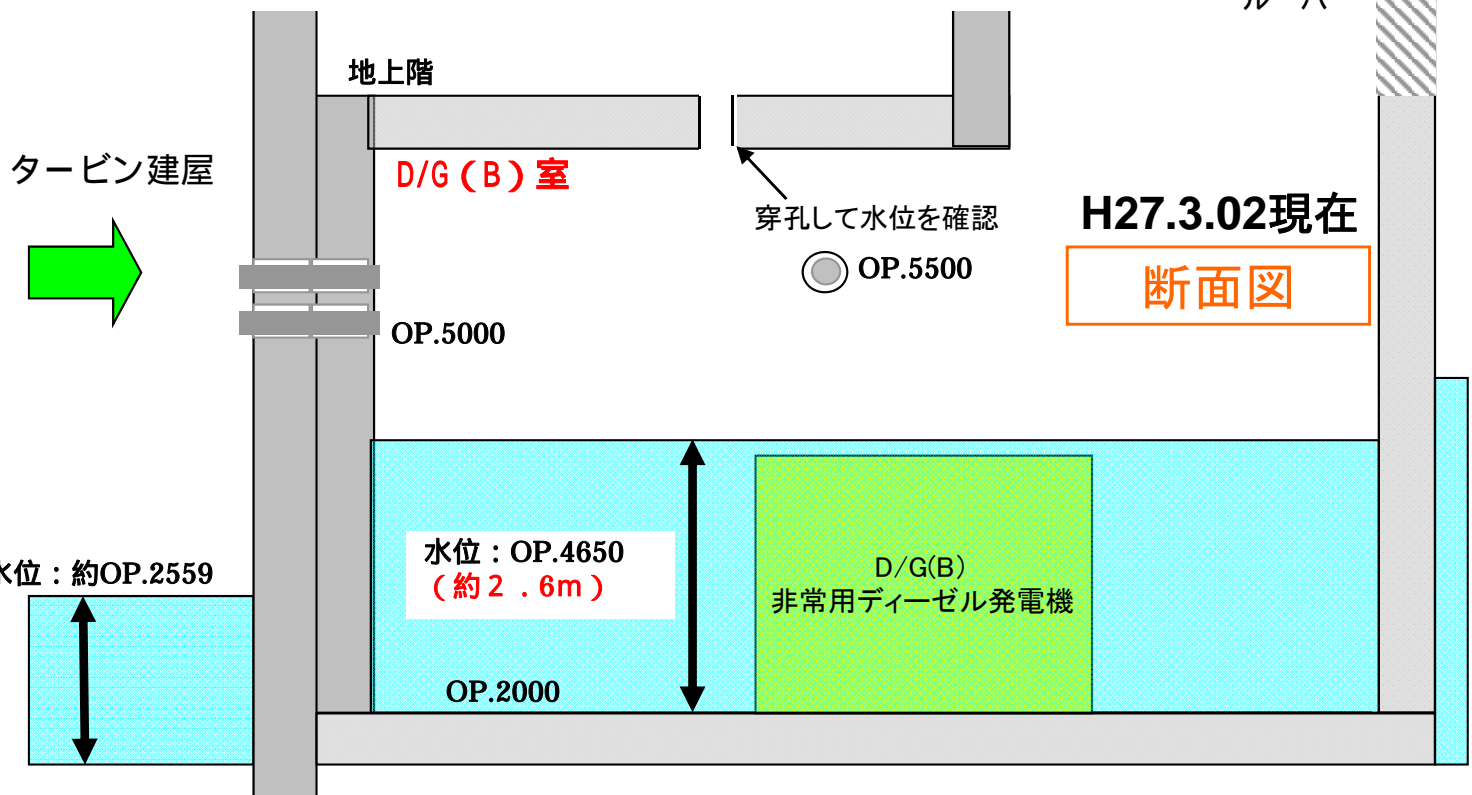
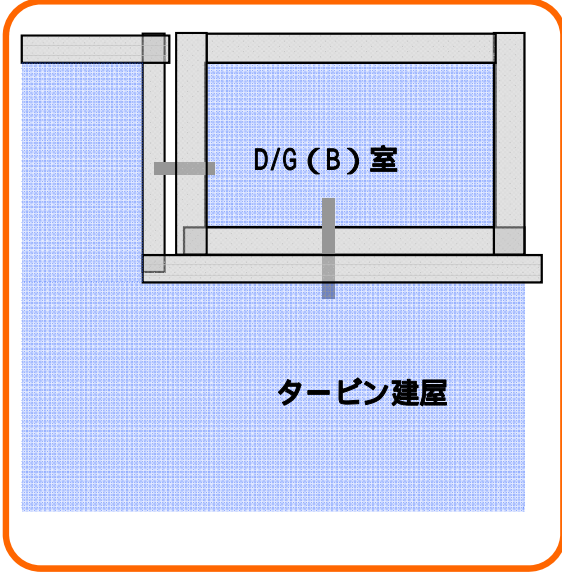


No.2 1号機 D/G(B)室

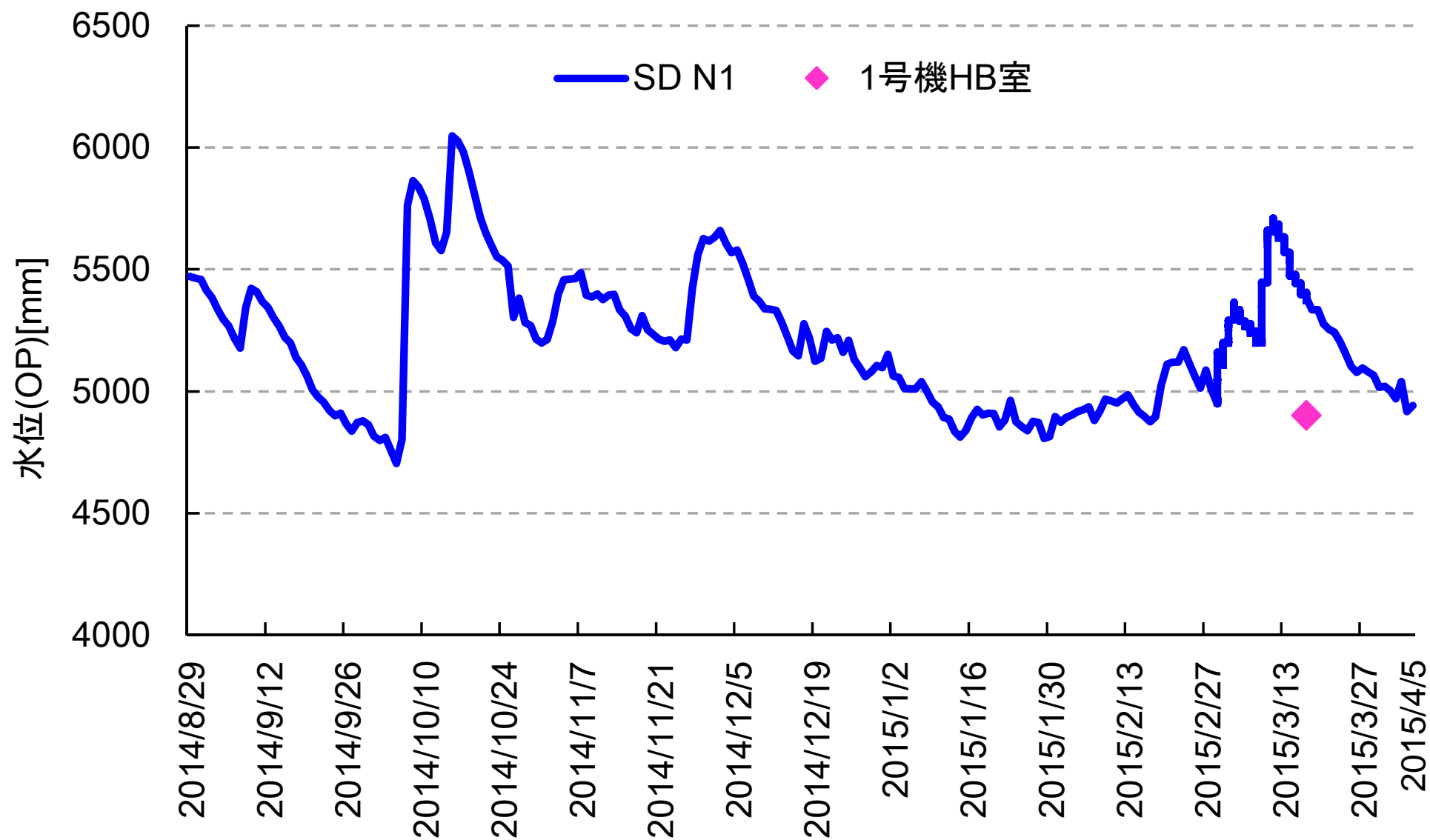
滞留水: 約830m³



サブドレン水位の変動があっても、D/G(B)室の水位変動は見られない。

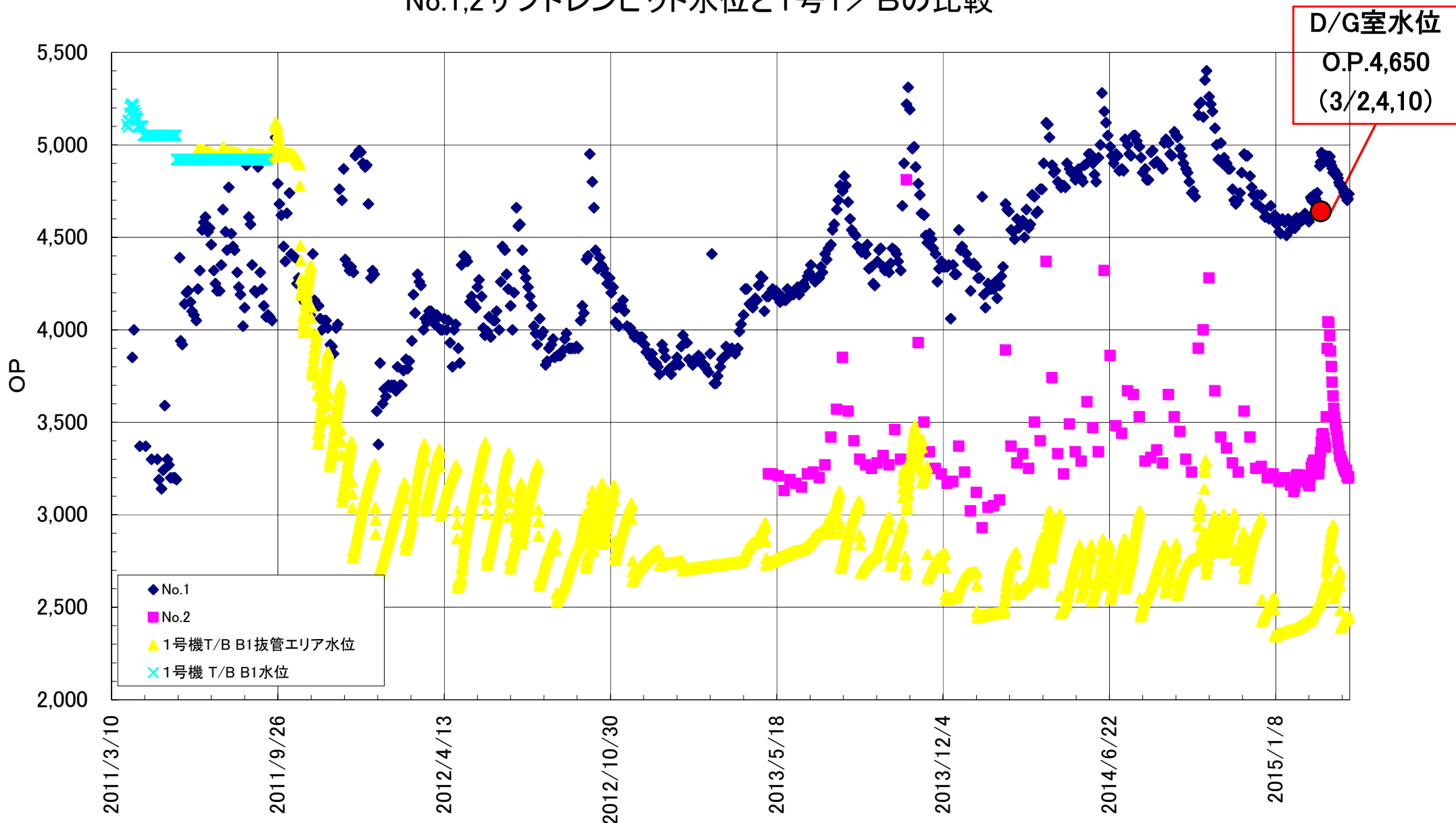


【No.1参考】 1号機H / B室の近傍サブドレンピット (N1) の水位変動

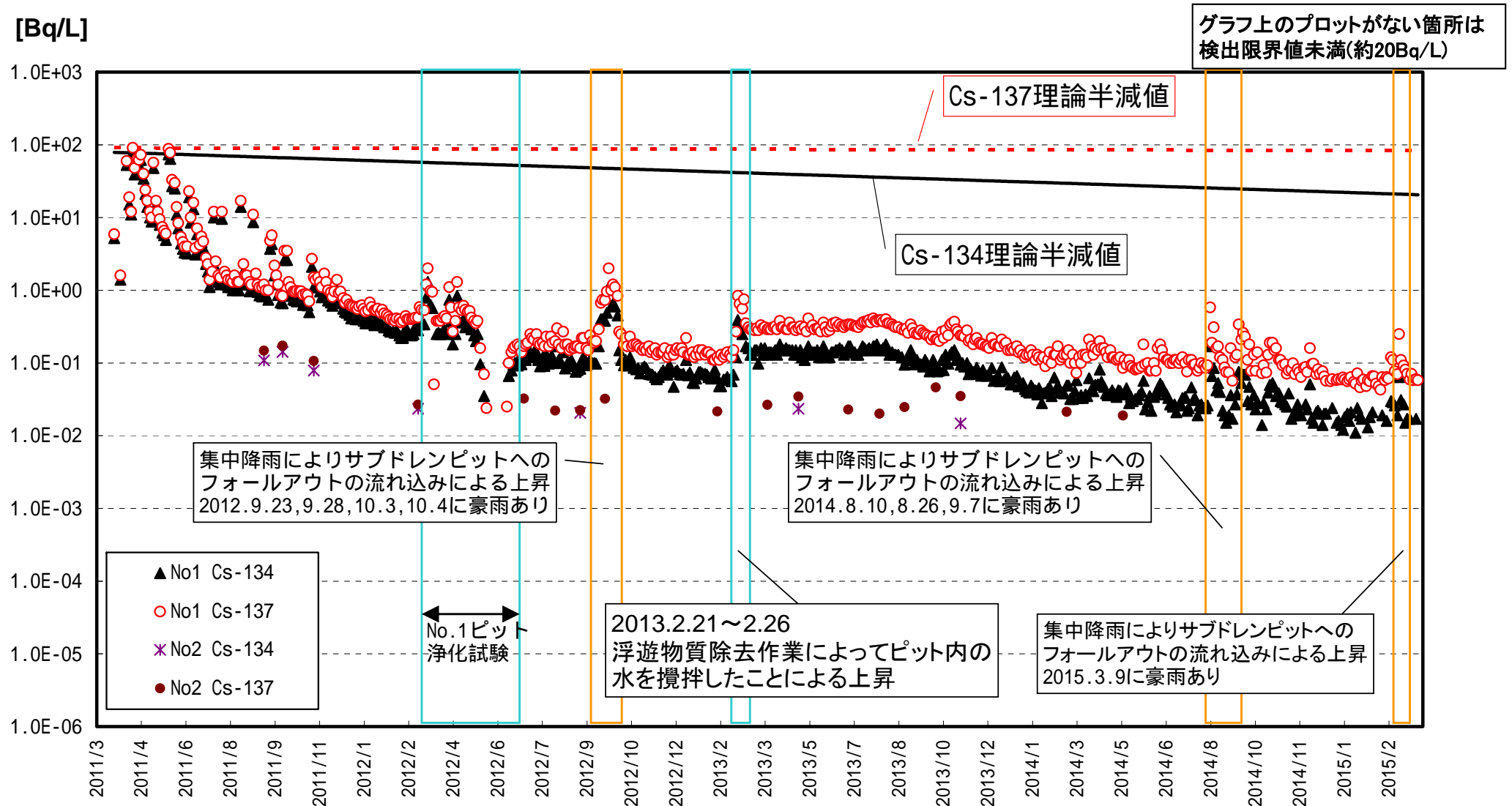


【No.2参考】 1号機D/G(B)室の周辺サブドレンピットと1号機T/Bの水位変動

No.1,2サブドレンピット水位と1号T/Bの比較



【No.2参考】No.1,2サブドレンピットの放射能濃度(Cs-134,137)分析結果



- ・ 初期濃度の低下傾向は、ピット周辺土壌への吸着による濃度低下によるものと推察
- ・ ピット内作業，集中降雨による水質変化が確認されるのみ

【参考】サブドレン集水設備の配置

